 <p>長野高校 1 学年 SGH 通信</p>	<h1>有 隣</h1>	<p>緑のファイルにまとめましょう 第 17 号 2016 年 10 月 31 日 (月)</p>
---	--------------	---

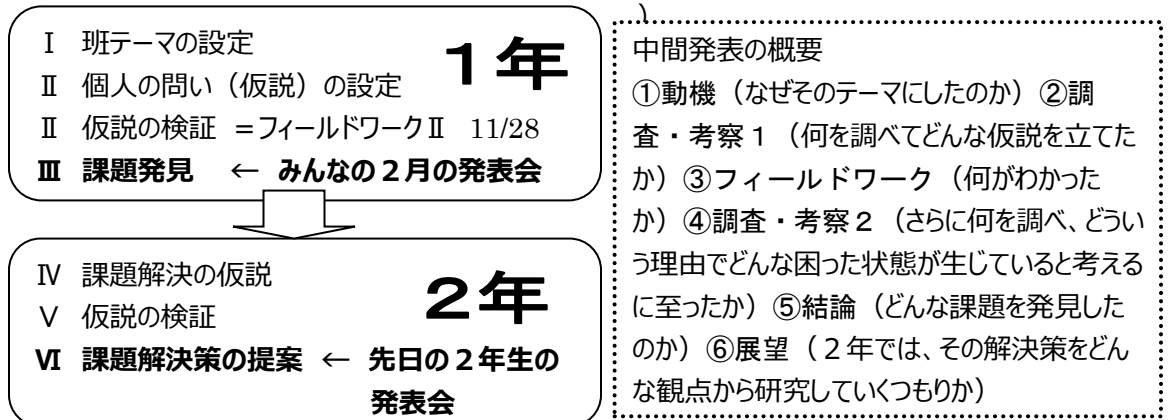
## 今週中 (11 月 4 日) をメドに、アポ取りを完了させましょう

11 月 28 日 (月) のフィールドワーク先のアポ取りは進んでいますか？

28 日の 3 週間前に依頼書を先方へ届けることから逆算すると、今週中にはアポ取りを完了させる必要があります。「待て」の指示を受けている班以外は、すみやかに行動に移して下さい。アポ取りを済ませたら、寄添教員の先生に『依頼書 (下書き)』・『計画書』・封筒の 3 点セットを提出して下さい。

初めての事ですから、色々心配なことがあるかも知れません。何かありましたら、SGH 室へお越し下さい。下にいくつかの注意点を記しますので、確認して下さい。

- (1) FWを含めて、2 月の中間発表会に向けておこなう課題研究の目的は、「地域の課題発見」です。2 年間の課題研究の流れは、下記のとおりです。**1 年で課題を発見し、2 年でその解決策を研究する**のです。2 月には「私達はこんな課題 (こういう理由でこんな困った状態が生じている) を発見して、2 年ではこういう観点からその解決策を考えていく予定です。」ということを発表します。焦らずじっくり！



- (2) 11 月 28 日 (月) の日程について

当日は、『午前 F W 1 カ所目、午後 F W 2 カ所目』、『午前 F W、午後学校でまとめ』など、様々な日程が考えられます。計画書には日程を書く欄がありますので、検討して下さい。

- (3) アンケートやインタビューについて

「自分たちで考えていても良く分からないから、取りあえず街の人に聞いてみよう」←この発想からの研究は禁止です。尋ねられた街の人は、たまったものではありません。この様な研究方法では、今後の研究に繋がる有益な情報が得られるはずありません。

「自分たちで考えていても良く分からないから、2 次情報を沢山集めて、当事者の所に F W へ行こう」です。

研究が進み、対象や内容が具体的に絞られ「こういう質問をすればこの仮説が検証できる」という段階になったら、そこではじめて、多くの人たちに聞いてみるという方法があり得るのです。

長野高校内でおこなう場合には職員会（管理職）の許可、校外でおこなう場合には職員会（管理職）と警察の許可が必要である事も伝えておきます。目的・内容・日時・場所を文面で提出してもらうこととなります。

#### (4) メールの書き方について

アポを取る中で、メールで連絡すると言われる所があるかも知れません。裏面にメールの書き方を載せておきますので、それに従って、失礼のないような文面で連絡をして下さい。

(出典「学びの技～14歳からの探究・論文・プレゼンテーション」)

### 教えて、学校を飛び出した学び！ 第4回

今回は、長野県教育委員会の〈グローバル人材育成事業〉の一つとして毎年夏に開催している2泊3日の宿泊プログラム、「発信力育成講座」（いわば課題研究の超短縮版）の参加報告です。第1回善光寺、第2回小布施ときて、第3回目の今年上田でした。来年はどこでしょう？

ところで、本校からも4名が参加する、明日から駒ヶ根のJICA青年海外協力隊訓練所で開催される2泊3日の宿泊プログラム「グローバルマインド育成講座」（青年海外協力隊と同じ訓練を体験できる！）も〈グローバル人材育成事業〉の一つ。この〈グローバル人材育成事業〉は、県と他の機関が連携して“高校生にグローバルに通用する力を付けてもらう、”という目的で、とても安い参加費で開催しています。高校生なら誰でも応募できるプログラムなので、今年参加しなかった人も、来年の応募を考えてみてください。

#### 上田アカデミアに参加して

1年

僕が上田アカデミアに参加した主な理由としてはグローバルなテーマでの探究活動、ディスカッション及びプレゼンテーションの実践を通して多面的視点を備えた思考力、判断力そして表現力を体得したかったからです。

僕は8月1日から3日までの三日間上田でグローバル人材育成事業・発信力育成プログラムという企画のもとで、現地で知り合った他校の生徒と「上田市の魅力」というものをフィールドワークやプレゼンテーションを通して調査し、共有しました。どこに行って何を見て誰に何を聞けばいいかなど全く指定されていない状況下で右往左往しながらも何とか周りのスタッフのサポートもあり最終地点まで辿り着くことができました。

この三日間で僕は探究活動の大変さを身にしみて感じました。フィールドワークはプロセスをすぐ重用する探究活動であるということを改めて実感しました。プレゼンテーションではプレゼンテーション技術や自分の考えや意見を効果的に相手に伝える方法を長野高校にも来て下さった大宮先生をはじめとする先生方のサポートを得て学ぶことが出来ました。尚今回は海外留学・海外大



[http://plaza.rakuten.co.jp/kami\\_paso117/diary/200808080000/](http://plaza.rakuten.co.jp/kami_paso117/diary/200808080000/)

学進学経験者との交流もあったのでより、有意義な活動となりました。

今後の日本は今以上にグローバル化が急速に進んでいきます。そこで僕たちに求められるのはグローバル力です。僕はこの意義ある経験を今後の校内外のグローバル活動に役立て、将来の自分に繋げていきたいです。そして、「何事にも自発的に挑戦する」ということを銘肝して生活していきたいです。